

# 瑞山会会報

## 第30号

平成10年12月10日発行

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部  
名古屋市瑞穂区瑞穂町宇山の畑1(名古屋市立大学経済学部内)

## 日中学術交流会議・名古屋会議開催



### ◆第二回日中経済学術交流会議・名古屋会議を終えて◆

本会議は、1997年10月、名古屋市立大学経済学部と中国社会科学院日本研究所との間で結ばれた国際学術協定にしたがって開催されました。同協定は、経済学部のイニシアチブによるものですが、名古屋市立大学全体が取り組む事業の一つとして位置づけられています。事実、今回の会議の準備、開催のために瑞山会による積極的なバックアップに加えて、民間の企業、そして大学側からも実質的な援助を得ることができました。

1997年秋、開催されました北京会議「21世紀の日中経済展望」を踏まえて、本年の名古屋会議は「日中経済関係のパラダイム転換」を統一テーマに掲げました。ある時代、ある社会には固有の考え方、見方の枠組み(パラダイム)が存在するとすれば、日中両国はこれまでの経済関係の成果のうえにたつて、これまでの枠組みの質的な転換、見直しの時期に現在、差しかかっています。両国の経済構造が急激に進化しつつあると同時に、両国を取り巻くアジアそして世界の動きはさらに急速です。このようななかにあつて従来の日中経済関係の成果は何か、その問題は何か。今後どう展開、進化するのか。これらの問題をめぐって、計量的視点だけでなく、制度的、歴史的視点からも分析を掘り下げようというのが今回の名古屋会議の趣旨でした。

会議はまず、日中の著名人(日本側、中江要介・元中国大使、中国側、張雲方・中国國務院發展研究センター副局長)による公開講演会(10月12日)から始まりましたが、「明日の日中関係をどう展望するか」(中江氏)そして、「中国の構造改革の現状と展望」(張氏)について、それぞれズバリ本題に触れる講演内容でした。次に、個

別テーマを中心に議論する分科会が開催されました(10月13日)が、全体で5つのテーマ(通貨・金融、農業・エネルギー、経済開発、貿易、自動車産業、地域・環境・租税)から構成され、各々の分科会のオーガナイザーの先生方(根津永二、牛嶋俊明、宮川淳、内藤能房、多和田真、塩見治人)の協力を得て、日中双方による突っ込んだ議論を展開できたことは、今回の大きな収穫と言えるでしょう。さらに全体のシンポジウム(10月14日)では、「パラダイム転換のための行動計画」そして「日中経済社会の協力と競争」のテーマをめぐって会議全体を締めくくるとような具体的提言が展開され、日中共通の理解として双方で確認しあうことができました。

さらに、参加者による地域経済調査ツアー(トヨタ自動車元町工場見学)と、研究者そして企業との交流を兼ねた日中経済事情懇話会を開催しました(10月15日)。後者については中日新聞などにも取り上げられましたのでご存じの方もいることでしょう。

最後に北京大学教授による公開講義(10月16日)では、「中国経済思想と現代中国経済」(石世奇教授)および「中国は日本に何を求めているか」(田万蒼教授)について両教授の積年の学問的成果が披露されました。

以上が今回の会議の全容です。最初に述べました中国社会科学院日本研究所との交流協定は、2000年まで続けることが合意されています。したがって来年は再び北京で、そして2000年には名古屋でそれぞれ開催予定になっています。今回の会議開催に際して、瑞山会による多大のご支援をいただいたことに再度、深く感謝すると同時に今後も持続的なフォローアップをお願いします。

(日中学術交流会議 事務局長 井上泰夫 記)

## 野外バーベキューの集い開催される。

平成10年9月6日(日)に瑞山会主催・野外バーベキューの集いが山の畑キャンパス中庭で開催されました。従来は学外での開催でしたが、医学部、薬学部参加をさらに進めるため今年は大学内での主催となりました。当日はあいにく雨模様の天候でしたが、医学部、薬学部の皆さんや、瑞山会会員の多くの方がご家族づれでご参加いただき、楽しいひとときを過ごすことができました。ゼミ、クラブの仲間との久しぶりの懇親の場としての参加もできますので、次回も多数の皆さんのご参加をお待ちしています。



## 平成10年度通常総会 兼代議員会開催される

平成10年8月22日(土)午後4時より平成10年度瑞山会通常総会・代議員会が頤和園豊田ビル本店で開催されました。開会の挨拶、物故者の黙とうの後議長、書記選出が行われ議事が審議されました。審議内容は以下の項目です。1)平成9年度経過報告および事業報告 2)平成10年度事業計画 3)平成9年度決算報告、平成10年度予算案報告 4)新役員選出 5)瑞山会支部助成の状況、瑞山会ホームページ開設に向けての準備など報告されました。議題はいずれも賛成多数で承認されました。引き続き青山後援会会長、水野薬友会会長など来賓の方々と交えて和やかに懇親パーティーが行われました。来年度も多数の会員の皆さんの参加をお願いいたします。



### ●平成9年度決算報告

#### 第20期 貸借対照表

(平成10年3月31日現在) (単位 円)

貸方	金額	貸方	金額
普通預金、現金	5,047,475	未払金	52,710
中国ファンド	1,915,757	運営基金積立金	15,362,835
貸付信託	6,560,000	(うち当期剰余金)	1,336,053
金銭信託	1,892,313		
合計	15,415,545	合計	15,415,545

未払金内訳 アジマプリント 52,710円

#### 第20期 収支計算書

(自 平成9年4月1日 至 平成10年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額 (A)	実績額 (B)	差額 (B) - (A)
会費収入			
(新入会費)	4,240,000	4,240,000	0
(その他)		0	0
各部預金利息	4,000	4,760	760
運営基金利息	100,000	66,254	△33,746
運営基金戻入	0	0	0
その他	0	70,000	70,000
収入計	4,344,000	4,381,014	37,014

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額 (A)	実績額 (B)	差額 (B) - (A)
名簿追録発行費	200,000	19,185	△180,815
会報発行費	1,600,000	1,438,991	△161,009
総会費	1,000,000	458,884	△541,116
事務費	294,000	256,858	△37,142
通信費	50,000	58,745	8,745
事業運営費	800,000	703,098	△96,902
名簿費	0	109,200	109,200
予備費	400,000	0	△400,000
支出計	4,344,000	3,044,961	△1,299,039
当期剰余金	0	1,336,053	1,336,053
合計	4,344,000	4,381,014	37,014

注) 名簿追録発行費：卒業生に対して、8月に郵送

### ●平成10年度予算案

#### 第21期 収支計算書

(自 平成10年4月1日 至 平成11年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額 (A)	前年実績額 (B)	差額 (A) - (B)
会費収入			
(新入会費)	4,220,000	4,240,000	△20,000
各部預金利息	6,000	4,760	1,240
運営基金利息	74,000	66,254	7,746
その他	0	70,000	△70,000
収入計	4,300,000	4,381,014	△81,014

(注) 新入会費は平成10年4月の実際の入金額である

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額 (A)	前年実績額 (B)	差額 (B) - (A)
(注1) 名簿追録発行費	50,000	19,185	△30,815
(注2) 会報発行費	1,500,000	1,438,991	△61,009
総会費	1,000,000	458,884	△541,116
事務費	300,000	256,858	△43,142
通信費	60,000	58,745	△1,255
(注3) 事業運営費	1,010,000	703,098	△306,902
名簿費	0	109,200	109,200
(注4) 予備費	300,000	0	△300,000
当期剰余金	80,000	1,336,053	1,256,053
支出計	4,300,000	4,381,014	81,014

(注1) 新入生に対する名簿追録発行費用

(注2) 会報2回発行費用

(注3) 新規各種助成費用

・新支部補助金、OB表彰制度等を考えています。

(注4) 中国学術研究会(学校側)に対する寄付金等を考えての予備費です。

## 1998年度役員名簿

### ●理事

#### 会長

前田勝昭 1期生(岡崎)

#### 副会長

近藤常夫 1期生(平田)

多和田真 4期生(岡崎)

佐藤克己 8期生(岡崎)

#### 庶務部長

八木得三 5期生(山本)

#### 副庶務部長

伊藤孝 6期生(山本)

#### 庶務部

浅井和良 1期生(静岡)

渡辺尚泰 3期生(柴田)

小笠原幸生 6期生(中居)

荒深美和子 9期生(木村)

倉地弘美 14期生(松永)

木村剛 17期生(辻)

吉田和男 20期生(國村)

坂野之信 21期生(牛嶋)

#### 編集部

榊原茂 1期生(松永)

### 副編集部長

服部篤典 18期生(安藤)

#### 編集部

手塚祥郎 1期生(牛嶋)

伊藤幸雄 5期生(妙見)

鈴木正彦 7期生(芝原)

田中喜夫 7期生(岡崎)

寺沢賢治 11期生(牛嶋)

水野誠 13期生(宮川)

松川倫典 16期生(塩見)

湯浅伸庸 18期生(安藤)

中村英利 20期生(西田)

石川勇治 21期生(上村)

柴田光晴 22期生(神山)

家田嘉人 26期生(星野)

高山浩之 26期生(國村)

西理恵 26期生(國村)

清水綾子 30期生(多和田)

柚田明子 30期生(安藤)

#### 事業部長

逸見和弘 1期生(松永)

### 副事業部長

杉浦晴義 5期生(松永)

#### 事業部

都島忠比古 3期生(山本)

浅岡邦康 3期生(傍島)

木村新作 5期生(岩橋)

伊藤政明 5期生(柴田)

加藤実 6期生(宮川)

岡田美津雄 10期生(中居)

村岡範久 15期生(松井)

畔柳一 19期生(星野)

石川常彦 23期生(國村)

#### 名簿部長

中村正治 5期生(木村)

#### 副名簿部長

児島完二 22期生(妙見)

橋本光生 18期生(醍醐)

#### 会計部長

坂野修 2期生(山本)

#### 副会計部長

児島和世 22期生(國村)

### ●監事

栗野泰次 1期生(大山)

松原隆二 4期生(中居)

# 新しい時代を創る人と人をつなぐ ネオ・キャリア・ネットワーク Vol.5

哈 文琦 [は ぶんき] さん [経済学部大学院卒業] 株式会社希望社 国際事業部スタッフ

編集部 [●] このプログラムは、5回目となります。「現在、社会において、様々なキャリアでご活躍される名古屋市立大学経済学部の卒業生の皆さんの「人と仕事」をご紹介しますことで、OB相互や学生との交流、自己啓発のお役に立ちたい」というのが、この企画の目的です。今回は、中国からの留学生で、名古屋市立大学の大学院を卒業され、日本の企業に就職された哈文琦 [は ぶんき] さんをご紹介します。はじめに、ご自身のプロフィールをご紹介します。

哈 [○] 私は、1971年、中国の南京市で生まれました。当時は、文化大革命 [1966-77] の中間点で、1978年の改革開放政策への転換までは、西欧・資本主義の文化流入は、一切制限されていました。みんな人民服みたいな。私が小学校1年生の時に、改革開放政策がスタートし、今年、中国では、20周年を祝っています。南京市は、揚子江流域ですが、海岸線から内陸に入っています。今年の揚子江は、上流と中流では洪水に見舞われました。南京は、中国の10大都市の一つで、開放政策以降、特に90年代に入ってから、住んでいる私が戸惑うほど、市街化地域の再開発が年を追うごとに進み、現在では、人口500万人、名古屋を超える人口を擁するほどの大都市になっています。現在でも、農村地域から、都市部への人口の流入が絶えません。戸籍の移動がないままに、都市部に出て働く「盲流」が、問題になっています。地域、産業の経済格差が本格化しているわけです。鄧小平の「黒い猫でも白い猫でも、より多くのねずみをとる猫がいい猫だ」が浸透しています。

●この10月には、名古屋市立大学・経済学部と中国社会科学院の主催した「日中學術交流會議」が開かれました。経済成長著しい中国に対する関心は、高まる一方です。南京というと、私のような世代でも、「大虐殺」という加害の歴史を思い起こしますね。政府間の共同声明でも、未だに日中戦争の謝罪を巡る問題が出ています。

○中国人は、歴史をしっかりと学びますが、現在の日本人を憎んだりしていませんよ。むしろ、アメリカや日本への留学は、中国の若者にとってはあこがれです。特にアメリカへの留学は、人気が高い。私の父は、軍事大学で航空技術を学び、国営の研究所で機械系エンジニアとして働き、後に自ら繊維関連の企業を設立しました。留学する人は、経済的にも、知識的にもエリートですが、私の家はそれほどでもありませんでした。私が日本に来たのは偶然でした。私は、南京華東水利大学という、建築・土木系の強い総合大学の外国語学部で英語を専攻し、英米文学、ビジネス会話、通訳、翻訳、貿易英語を学びました。卒業後は、5つ歳上の兄にならって、アメリカに留学するつもりでした。兄は、中国のMITみたいな上海交通大学で電子工学を学び、アメリカのコロンビア大学に留学、卒業後、ジェネラル・エレクトリック社で、コンピュータのエンジニアをしています。

●なぜ、日本に決めたのですか？

○たまたま私の父の名古屋にいる友人から、日本への留学を勧められ、アメリカよりも先に日本のビザがおりたので、93年、22歳で、日本に来ました。アメリカのビザの取得は、学力や技術がないと、大変に難しいんです。その時点で私は、日本語は、まったくわかりませんでした。名古屋空港で、早くも立ち往生。電話もかけられない。

●日本語はぜんぜん知らない状態？でも今、日本語は完璧ですよ。これは、すごいなあ。

○もともと、天真爛漫な性格で。自分で、あれこれやりたいんです。親からも中国からも飛び出したら、やりたい放題だって期待して。ともかく、1年間は、一人で生活しながら、河合塾の日本語学校に通いました。4月に入学して、能力試験1級を12月に取得。1年後に、名古屋鉄道奨学金を受けて、名古屋市立大学・経済学部の大学院の入学しました。3年間、多和田先生より、国際経済学の貿易政策を学びました。輸出税、輸入税、3国間貿易モデルの研究……。もともと外国語学部だったので、数学がわからなくて、本当に、よく先生にしかられました。アメリカのGEにいる兄から、数学の専門書を送ってもらって、勉強しましたよ。

●面白かったですか？

○面白いわけじゃないですか。でも、「わかってくると、経済学ってなかなかおもしろいです」ってフォローしておきますね。やりたい放題だって期待したのに。本当に勉強ばかりでした。在学中は、家庭教師や居酒屋のアルバイトもしましたが、本当に少ない時間でした。家でも、毎日、3時間くらい勉強してました。でも、週末は、友人とショッピング。また、登山で、長野や岐阜、三重に行きました。長島スパーランドとか遊園地も好きです。あと、中山道の散策。新穂高ロープウェイ。伊吹山スカイライン。友達には、日本人も中国人もたくさんできました。でも、今の会社に就職したら、これまた仕事ばかりです。おかげで、今は、友達に会うこともままなりません。週末は、寮で、掃除、洗濯……。

●哈さんは、なぜ、そんなにがんばれるんですか？

○中国の若者は、私だけでなく、みんな大学を出て、海外で勉強したり、ビジネスしたり、起業したいという人が多いです。中国は、人口も多いから、受験も就職も、すごい競争力です。よく勉強していますよ。私の大学には、8,000人の学生がいます。大学には100人に3人位しか入学できないのにです。

●日本の学生の印象はあなたにはどう見えているのかな？

○本当にまじめでおとなしい。国が狭いせいか、考え方が「日本だけで」閉じているような気がします。アルバイトの時間が多い。それと農民的かな。土地を買って、家を造るのが自分の最大の財産だっていう常識あるでしょ。中国は、大陸性だから、むしろアメリカ的。外に出て行くのは自然な発想。だから、オープンなアメリカに人気がありますね。

●日本人って、戦争しても占領地に入植して、農業やっちゃう定住性の強い民族だから。狩猟民族的な移動性に富むヨーロッパとは違うね。中国は、特に今は、経済成長がすごくて、海外から知識や技術や資本の導入が必要な時期だから、政府も、国民も、海外に向いていますね。アメリカに行きたいですか。今すぐ？

○もう一段と、学歴・能力・専門知識を身につけないと、アメリカのビザはもらえないですね。今は、日本の企業に入って、仕事もうまくいかなくて、自分に能力があるのかわからないようになってきたんです。仕事の成果が出せなくて、自信がなくなっている。日本で自信をつけてからでもいいと思っています。今、アメリカが良く見えるのは、「隣の芝が青く見える」だけ。どこでもいっしょでしょ。もっと、がんばります。

●英語・中国語・日本語。全部OKでしょ。どんな仕事をしているんですか？

○希望社という建設工事のコスト・マネジメントのコンサルティングをする会社にいます。私の国際事業部には、私と、中国人の女性の部長の二人。中国からのコストパフォーマンスのいい建材の輸入と、中国への旅行ツアーの企画・営業をしています。また、中国語教育サービスも。この会社の特徴は、徹底した業績主義。終身雇用という常識はありません。会社という器を利用して自分の仕事を創り出して、会社に家賃を納めて、自分の給料は自分で稼いでね、って会社なんです。

●確かに日本的な会社じゃないですね。でも、日本の企業は、この不況を経て、希望社さんに近づきたいと思っているでしょうね。もっと個人、自由と自己責任の時代に向かっていますから。

○経営者はユニークで明晰な人ですね。社員は、誰も、彼を負かすことができない。社長は、大学を出ていませんが、事業や企業運営の「仕組みを作り出す人」です。私は、上司のウェイと二人で、この事業ごと利益管理しています。今は、2人分の利益しか出せないから、スタッフは3人はいらないと判断できます。経営者感覚を磨くというか、希望社のやり方で、事業運営者として通用すれば、どこでも通用すると思えます。

●哈さんは、入社1年も経っていない新入社員でしょ。むちゃ



くちや任されてますね。大学を出て企業に就職する新卒のサラリーマンの感覚とは、ぜんぜん違いますよ。話は変わりますが、先日「天安門」というドキュメンタリー映画みたくですが、今の中国の若い人は、政治的にも、あんなに熱いんですか。

○私は、89年の天安門事件の時は、大学2年生。自分の目で見ましたよ。

●北京にいたんですか？

○南京の大学です。私たちにとっては、「天安門」は映画でなくて、現実でした。中国の若者は、中国という国家の未来に、希望やあこがれを持っている。その意味では、日本の学生よりは政治的ですね。まだ、「国の未来をどうしたいか」という議論のできる感覚が、若者にあります。

●日本の若者には、国家の建設や貢献なんていう感覚は、あまりないと思いますね。個人の生活のウエイトがかなり高いでしょう。デフレ経済の国家的危機に対して、国民に商品券を配るという発想の政府もありますし。

○日本の若い人は、戦後、彼らのお父さんやお母さんの作った経済のしくみ、財産に、もたれすぎ。依存して生きているように見えます。あなたが就職する大企業は、あなたのお父さんの世代が0から創ったものなのに。自ら事業を起す情熱を持つ学生は少ないですよ。エネルギーの出し場がない？目的を持ちにくいのかな。

●そうですね。一昨年、ベトナムに行ったんですけど、8,000万人もの人口がいて、ベトナム戦争後のベビーブームを経て、みんな若い人ばかり。みんな商売をしていて、すごい熱気。ホテルや工場など、欧米の企業の進出が著しい。生産コストが安いし、何より、若い世代がざらざらして一生懸命働いている。日本の若い世代の競争力は、アジアの中で、どうなんだろうって思いましたよ。彼らが、自由に、国境を移動して働ける時代が来たら、日本人には、競争力があるのかどうか。日本人の賃金は高すぎると言われますが、中国の東大クラスのエンジニアを、世界標準の多国籍企業が、日本人の1/10くらいの年収で雇用

している時代なんだなということを再認識しましたね。

○日本の規制や法律が許せば、中国の腕のいい左官職人を、日本に紹介したいです。日本には、「職人」が不足していますね。私は、異邦人として、今、日本で、自立して生きていかなければいけないけれど、中国の人は、みんな自分の国で、そういう感覚だと思います。開放政策は、自由競争の政策です。私も事業家になりたいし、資産ができれば、華僑のように投資のゲームにも参加したい。15億人の中国人が、より豊かになるために勉強したり、働いたりしています。今後、アメリカにも日本にも、たくさんの中国人が、学び、活躍できる場をもとめて訪れると思います。一方で、今、私は、中国に留学したい学生に、中国語や中国の歴史・文化を教える事業もしていますけど、中国に興味がある、中国に行ってみたいという、日本の若い人も増えていますよ。

●何か、中国と日本の若い世代が、自由に交流できる時代という、いい感じになってきましたね。

○そう。それにしても、今は、日本は不況でしょう。私も疲れちゃって、元気無いです。事業を勉強しながら、業績をあげて自信を取り戻したいと思います。お互いに、がんばりましょう。それで、私からのお願ひなんですけど、私が今、企画している、中国の旅行ツアーに参加する人を、紹介してください。本当に充実したプログラムで、本当に安いですよ。私が、現地のナビゲーションしますから、期待してくださいね。

●目の商売も大切、ということですね。

○そうですね。目の商売「こそ」大切なんです。生活のためです。お客様の立場に立つ。時間など約束は守る。いつも元気でやる。これは、日本の企業で新入社員をしている私が、この間、痛いほど、大切だと気づいたことです。それと仕事は、与えられるものではなく、自分で創り出すものだという事です。

[1998年11月9日 株式会社 希望社 本社ギャラリーにて]  
編集委員 湯浅伸庸 [18期] 清水綾子 [30期]

## ////////// 会員からのメッセージ //////////

**■現在、** ホームページの開設を準備していますが、理事会・代議員会の参加確認のはきによるコミュニケーションだけでも、多くの貴重なメッセージをいただきました。たった1行でも、もう一つの「ネオ・キャリア・ネットワーク」と言えるような思いが伝わります。ご紹介いたします。お知り合いは、お見えですか？

### ＜ 会報について ＞

●今春、卒業して、やっと仕事にも慣れはじめたころに会報を見て、ふと、大学を思い出すことができました。会報の卒業式の写真に、多和田ゼミの自分を見つけました。[H10 多和田ゼミ 位田千夏] ●今回、辻ゼミOB会が載っていたので、うれしく拝見しました。[S59 辻ゼミ 水野奈緒子] ●会報が届けられるたびに、大変に懐かしい気持ちになります。[S63 国村ゼミ 白井良和] ●ホームページに、会報のOBインタビューを掲載すれば、OBだけでなく、家族や名古屋市立大学の受験生も見られると思います。[S60 醍醐ゼミ 橋本光生]

### ＜ ホームページについて ＞

●ホームページをぜひ開設して欲しい。卒業して名古屋を離れていると、特に近況がわからず、気軽に訪れることも難しいので。[H3 トレーゼミ 長谷川恵子] ●ホームページに期待しています。[松田充史] ●私はホームページを持っています。見てください。www.aichinet.or.jp/higashi [S57 松井ゼミ 東文雄] ●現在、イギリスのエセックス大学の客員教授として滞在中。ホームページの開設はいいことですが、個人情報漏出には注意してください。[S47 妙見ゼミ 伊藤幸雄]

### ＜ 近況について ＞

●元気でやっております。[S59 上村ゼミ 水野秀士] ●まだ何とか生きています。[宮川ゼミ 安藤献一] ●現在、療養中で、健康になったら理事会にも出席させていただきます。[S50 岡崎ゼミ 佐藤克己] ●6年間いた東京から転勤で、今まで行ったことのない観光地として楽しみな西の端にいます。[S53 塩見ゼミ 丹羽一成] ●H10に生まれた中部地区から、家族で東京に移動しました。[S45 松永ゼミ 品川正

典] ●97年より転勤で東京生活です。[H2 神山ゼミ 柴田浩貴] ●今年、三田市に転居しました。転居後3ヶ月で夫が転勤になり、単身赴任です。転居→転勤は、これで2度目です。[S55 内藤ゼミ 田澤宏子] ●昨年、長男が誕生し、子育てが落ち着いたところに、静岡県に転勤になりました。[H2 牛嶋ゼミ 粟野ゆか] ●現在、大阪に単身赴任中です。[S45 松井ゼミ 山北良彦] ●現在、千葉県大学の施設建設の建設工事に携わっています。名古屋の実家にも、なかなか帰れない状況です。[S47 山本ゼミ 井上伸二] ●昨年、転勤で大阪から名古屋に戻りました。[S45 藤田ゼミ 木村好広] ●瑞山会東北支部を作ってください。[S46 樋田定男] ●青年海外協力隊でボツワナ共和国に赴任中。99年夏に帰国します。[H6 宮川ゼミ 磯矢 浩] ●5年のイギリス滞在を終え帰国しました。[S53 芝原ゼミ 鈴木敦子] ●タイで仕事をしています。[S51 上村ゼミ 田中博]

### ＜ 変更・訂正について ＞

●自宅にて、社会保険労務士事務所を開業しました。勤務先への変更をお願いします。[S52 松井ゼミ 田中 悟] ●会報の就職実績に、私の就職した企業名が掲載されていないので、訂正をお願いします。[H10 三沢ゼミ 脇田 誠]

**■他にも、** 多くの、貴重なご連絡をいただきました。[敬称略] 訂正・変更は、お知り合いの方の分も含め、ご遠慮なく編集部までご連絡ください。

**■開設準備** が進められている「瑞山会ホームページ」では、瑞山会からのお知らせだけではなく、このような、会員の皆さんからの瑞山会運営についてのご意見や、近況の報告、連絡先の相互の問い合わせ、同窓会の告知などが行えるようにしていく予定です。皆さんの、ますますのご意見や、ご利用、ご参加を期待しています。

※29号でお知らせした編集部あてのE-mailアドレス、正しくは <atstique@rr.ij4u.or.jp> でした。訂正いたします。



◎瑞山会ホームページ開設しました！

何処に住んでいようが、どんな時間帯であろうが使える道具としてインターネットは新しい情報革命です。会員の皆さんの中にも個人でメールアドレスや、ホームページを持っている人も数多くいらっしゃるようですし、日常の仕事でも使われることになっていきます。そこで瑞山会でも最新情報の確実な到達、迅速な会員からの返信、また同窓会の本旨である「会員相互の親睦をはかる」手段としてホームページを平成10年12月15日より開設することとなりました。

URLは<http://www.asahi-net.or.jp/~iw3k-kjm/zuizan.htm>です。

瑞山会主催行事のお知らせと参加申込、会員の住所変更届などがサイト上から直接送ることができる他、瑞山会報のバックナンバーなどがご覧いただけます。内容は順次、付加改訂、アップロードされます。ぜひアクセスいただいでご意見、ご感想をメールでお寄せください。

瑞山会ホームページ準備委員会 18期 服部篤典

事◆業◆部◆便◆り

平成10年9月6日バーベキューパーティーが行われました。今年は目先を変えて経済学部キャンパス内にて開催しました。内海テニスコートがマンネリ化してきたこと、近年他学部（医学部、薬学部）との交流を目的とした行事が大切となってきた為です。10月17日には第32回OBゴルフコンペが瑞陵GCにて行われました。九州に接近してきた台風10号が秋雨前線を刺激し、雨がよいよ激しく降りしきる中、果敢に挑戦するチャレンジャーたちの間で熱戦がくり広げられました。優勝は杉浦晴義氏（5期生）でした。準優勝は西垣英昭氏（1期生）、3位は桜井利勝氏（1期生）でした。次回は来年4月24日桑名国際CCを予定しています。

11月22日には大学祭模擬店でOBコーナーを設けました。例年より遅い日程となりましたが、昨年開催時がクラブ活動の忙しい時期と重なり低調だった為大幅にずらしたとのことでした。昨年のあまりの低調さにOBコーナーの断念も検討しましたが、今年の盛り上がりを見て更に続けて行くことにしました。キャンパスには人文社会学部の学生も3年生となり活気があります。以前とは違う名市大見学にぜひ来てください。

来年4月4日には山崎川花見散策と茶会を行う予定です。お茶が苦手な方はジュースもビールも用意していますので、お気軽にお出かけ下さい。

5月3日には第10回硬式テニスの会を開催する予定です。

(事業部長 逸見 052-914-6221)

瑞山会支部活動報告 Vol.2 一中部電力瑞山会（市和会）一

中部電力瑞山会は現在22名で、毎年春の新社員歓迎会と、秋の2回に活動をしています。会員の勤務地は東区東新町の本店に14名、その他名古屋支店・静岡支店・長野支店・岡崎支店・東京の日本源燃への出向中、などで、所属は関連事業部を始め総務部・経理部など多岐にわたっています。卒業年次も第1期生からはほぼ毎年入社しており、女性も3名いるなど毎回の市和会は各々の情報交換で盛況となっています。今後は社内E-mailの活用などで交流がより盛んになることが期待されます。

(30期 清水綾子)

瑞山会支部活動報告 Vol.3 一平成10年度 瑞名会総会・懇親会開催一

平成10年9月9日（水）午後6時30分より、千種区にある「ルブラ王山」において、平成10年度瑞名会（瑞山会市役所支部）総会および懇親会が開催され、49名の同窓生が出席しました。

総会は、10年度幹事局である環境保全局及び環境事業局の中から、環境保全局の熊沢氏の司会により進められ、今回で勇退される塩田瑞名会会長の開会挨拶により幕開けとなりました。

次に、今年度新会員となった9名のうち、出席した4名の会員の自己紹介が行われ、先輩会員の盛大な拍手により暖かく迎えられました。来賓として出席いただいた前田瑞山会長の挨拶に続いて役員改選が行われ、会長に経済局総務課の近藤淑徳氏、他の役員には副会長に熊沢氏（環境保全局）及び小笠原氏（土木局）、会計に岩田氏（名古屋競輪組合）、会計監査に黒宮氏（名古屋スポーツ振興事業団）がそれぞれ選任されました。

引き続き総務局栗野氏の乾杯の音頭により懇親会が催され、和やかな雰囲気の中、先輩後輩の意見交換が行われました。場の盛り上がりとともに恒例の「お楽しみ抽選会」や幹事局が局をアピールする「環境クイズ」とアトラクションが続き、景品が渡される度に喜びの声が包まれました。

懇親会も終盤となり来年度の幹事局である計画局、土木局及び農政緑地局を代表して、計画局長谷川氏の一本締めにより会の幕を閉じました。



就職のための学生とOB・OGとの交流会開催

毎年恒例になりました「OB・OGとの交流会（経済学部ゼミ協主催）」が今年も11月6日（金）に開催されました。この企画は、就職活動を間近に控えた3年生の皆さんに、社会で活躍する先輩方と懇談する機会を提供し、就職活動の応援ができればという企画です。当日は午後から大学事務主催のガイダンスが行われ、引続き夕方より学生会館和室での交流会開催でした。まだまだ、景気の先行きに明るさが見えず、大卒文系の求人倍率も0.9倍と就職氷河期といわれた4年前と同水準まで落ち込んでおり、来年も厳しい就職戦線が予想されています。しかし、就職指導は他の私大と比較するとまだまだ不十分な部分も多く、学生の就職に対する意識もまだまだ低いのが現状で、厳しい状況にもかかわらず昨年より参加学生は若干少な目でした。先輩方は、業務多忙の折りにもかかわらず、メーカー・商社・流通・運輸など多業種にわたってお集まりいただき、参加された真剣な学生諸君よりの熱のこもった質問に、的確なアドバイスで応えていました。長期にわたる活動になりますが、この経験をいかしての頑張りに期待したいと思います。今年度はさらにもう1回開催できればと考えていますので、次回開催の折りにも多方面にわたる業種、職種の皆さんのご参加をいただければと思います。

(20期生 中村 英利)

◆瑞山会会員名簿購入を希望される方へ◆

昨年末に発行しました会員名簿第6号は残部が若干ございます。ご希望の方は申込を受け付けております。（なお、次回発行は平成13年末の予定です。それまでは新規発行はいたしません。）

下記あてに必ず卒業年度（または何期生か）と名前を書いてご送金いただければ直ちに名簿をお送りいたします。

料金 一部 4,000円

(送料込、ただし振込手数料は自己負担ください)

記

振込口座：東海銀行上前津支店

普通預金 口座番号：1379210

名 義：名古屋市立大学経済学部

瑞山会 会長 前田勝昭